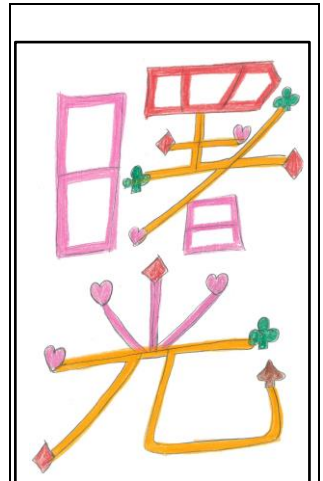




第72号

令和2年8月1日発行

発行

広島県立障害者
リハビリテーションセンター
あけぼの
〒739-0036
東広島市西条町田口 295-3
TEL (082) 425-1455

継往開来

あけぼの長 高橋 正

世界中に拡大した新型コロナ

ウイルスは、普段からの政府や国民との信頼関係の重要性や危機管理の大切さを改めて問うものであったと感じた。

私たちは感染拡大を防ぐため個々に行動制限や休業要請等に応じ自粛した。また、政府だけでなく地方自治体の判断や実行力も感染拡大時には大きいことも報道等により判った。

感染症に対して脆弱な社会体制であることも露見したと思う。公的医療機関や感染症対策、病床数の削減などコストとみなされがちな領域についても再考が必要なのではな

いだろうか。

行き過ぎた効率重視もどうかと思う。毎年数千万円の赤字を出しておいてと言われるのだが、そもそも高次脳機能障害を主とする事業は、施設部門も病院部門においても採算ベースに乗らない事業であり、他の部門からの補填で何とか凌いでいるのが実情である。まじめに業務に取り組んでいる職員に非はないが、数年前の事業の継続性も危うくなってきた状況と言わざるを得ないことから今年度中にあけぼのとしての考えを表したいと考えている。私たち

には、先達の事業を受け継ぎ、発展させながら未来を切り開いていくことも求められている。

あけぼのでは3月初旬から面会時間や外出・外泊の一部制限を実施した。4月上旬には制限を強化し、同月24日から外出（センター内を含む）・外泊及び面会を中止した。

外泊や面会の制限、マスクの常時着用や消毒の徹底、外部だけでなく所内における行動範囲の制限等は、利用者やその家族の不安や不満を高めることになったが、5月29日に外出・外泊・面会及びセンター内の行動制限の一部解除が可能となり、感染防止への取り組みは継続しているが、不安や不満は幾らか解消されたと思う。

終息が何時になるのかはわからないが、感染対策として支援員や看護師等は、消毒作業などの基本的な作業を継続している。この根底には、普段からの感染対策だけでなく、

利用者に寄り添った丁寧な支援や介護、身体状況の変化を見逃さない予防対応を愚直なまでに継続的に行ってきたことがベースとなっていると思う。集団感染とならない状況を維持することは、簡単なことではなく大変なことであり、これからも継続する必要がある。

新型コロナウイルスの感染状況は少し落ち着いてきたとはいえ、急激なピークを避けるためには長期戦になると思われる。相手を守るため人と人との物理的な距離を保つソーシャルディスタンスが推奨され、他人と交わらないのが日常となっている。今の状況では致し方ないが、お互いに雌伏の時であっても心は豊かでありたいと願う。



行事紹介①

あけぼの納涼祭

毎年、広島県立障害者リハビリテーションセンター全体で夏祭りを開催していますが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、残念ながら中止となってしまいました。そのため、夏祭りの代替行事としてあけぼの独自で「あけぼの納涼祭」を開催しました。準備の段階から生活訓練や就労移行支援の利用者に訓練の一環として関わっていただき、利用者と一緒に作り上げた行事です。その時の様子を紹介します。

・炭火焼鳥
・焼きそば



テラスでは焼き鳥と焼きそばを提供しました。なんと焼き鳥は炭火で焼きました！！
ここでも利用者が準備から接客対応まで大活躍です。



・レクリエーション
・ギター演奏♪



食堂ではレクリエーションと副あけぼの長によるギター演奏がありました。レクリエーションは利用者が内容やルールを考えました。当日の得点確認や記録，順位の決定も利用者が担当しました。上位の人には景品がでました！ギター演奏は利用者も一緒に歌いながら盛り上がりました。



メニューは・・・

おにぎり，焼き鳥，焼きそば
フランクフルト，枝豆，サラダ
アイス

・・・の7品でした



行事紹介②

Orionコンサート
(オリオン)

色々なボランティア行事が中止となる中、コロナウィルスの第一波が落ち着いたタイミングで開催することができました。いつも盛り上げてくださるOrionのお二人が、今年も楽しいひと時を過ごさせてくれました。利用者の皆さんも一緒に歌ったり手拍子をしたりしながら盛り上がり、たくさんの笑顔が見られました。



新!!

サンサンウィーク・クールウィーク



今年度、生活介護の利用者のみなさんに、より季節を感じ、味わっていただける活動を提供するため、「サンサンウィーク」と「クールウィーク」という取り組みを実施することになりました。サンサンウィークでは春の気持ちの良い気候の中で、屋外でレクリエーションや体操、散歩をしました。利用者にとっても職員にとっても良い気分転換となりました。クールウィークでは暑さの厳しい夏場に、「涼」を感じられるような活動を行っています。涼しい屋内でのフットバスなどを実施しています。今後、サンサンウィークは秋にも実施する予定です。



外での体操。日差しが温かく気持ちよかったです。



ウッドデッキでティータイム。いつもより美味しく感じました。



散歩。梅雨入り前でしたが暑いくらいでした。木陰は気持ちいい～

新任・転任職員紹介

聞いてみました！

- ①好きなこと・得意なこと
②あけぼのの皆さんにひとこと



おおさわ けんじ
大澤 建治（支援員）

- ①ゲーム🎮・釣り🎣
②4月に異動してきてはや3か月。
まだまだ不慣れな点もありますが、
みなさんのお手伝いをさせていただきますので、
よろしくお願いいたします！



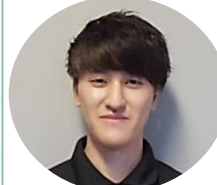
ふくま ゆうき
福馬 勇気（支援員）

- ①サイクリング🚲
釣り🎣
②一生懸命頑張りますので
よろしくお願いします。



あざわ ちひろ（支援員）

- ①読書📖
②利用者の皆さんが楽しい生活を送ることが
出来るよう日々精進してまいりますので、
よろしくお願いいたします。



やまぐち しょうた（支援員）

- ①サッカー⚽・サッカー観戦📺
②そろそろ入職して半年になります。
まだ不慣れな事や分からない事がた
くさんあるので、1日1日精一杯頑張っていきたいと
思います。よろしくお願いいたします！

利用者の動き（令和2年3月1日～令和2年7月31日）

《新規利用者》 9名（入所7名，通所2名）

【内訳】利用経路：リハセンター高次脳専用病床5，事業変更3，その他1

利用事業：機能訓練2，生活訓練2，就労移行3，生活介護2

《利用終了者》 18名（入所12名，通所6名）

【内訳】生活の場：自宅9，グループホーム3，施設（高齢）2，

施設（障害）3，病院1

活動の場：就職1，復職2，就労継続A型1，就労継続B型5，

就労移行支援1，生活介護4，介護デイサービス1，

入院1，その他（主な活動なし）2

題字紹介

今回題字を書いてくださったのは、利用者の足立一浩さんです。絵を描くことがお得意で、館内にも毎月、季節を感じさせる壁画を描いていただいています。今回お願いした「曙光」もあつという間に色鉛筆でオシャレに書いてくださいました。これからも素敵な作品を期待しています。

編集後記

新型コロナウイルスが猛威を振るうようになって約9か月。多くの方が様々な我慢を強いられていることと思います。緊急事態宣言は解除されましたが、その影響が一時は落ち着いた感染者も現在は増加の一途をたどっています。私事ではありますが、2歳になる長女も4月に産まれた次女もなかなか外出することができません。動物園、水族館、公園…いろんな所に連れて行ってあげたい！思いつき外で遊べるのはいつになるのでしょうか…。